

6月10日にプランクトン調査(播磨灘)を行いましたので、その結果をお知らせします。

【概況】（調査事業名：貝毒プランクトン調査）

- ・貝毒の原因となる有毒プランクトンの出現は確認されませんでした。
- ・魚類を死滅させる有害プランクトンであるシャットネラ属(アンティカ、マリーナ)の出現が確認されました。最高細胞密度(2種合計)は0.35細胞/mL(定点K4)と低密度ですが、広い範囲で出現しています。
- ・その他、珪藻類は少なめでした。
- ・播磨灘沖合の表層水温は約19～21℃の範囲で推移しています。

表：2021年6月10日 プランクトン調査結果（海水1ミリリットルあたりの細胞数）

調査地点	水深(m)	旧アレキサン ドリウム・タマ レンセ	旧アレキサン ドリウム・カテ ネラ	シャットネラ・ アンティカ	シャットネラ・ マリーナ	シャットネラ・ オバータ	カレニア・ ミキモトイ	ココロディ ニウム・ ポリクリコ イデス
KA1	0	0	0	0	<u>0.1</u>	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA2	0	0	0	0	<u>0.05</u>	0	0	0
	10	0	0	0	<u>0.05</u>	0	0	0
KA3	0	0	0	0	<u>0.05</u>	0	0	0
	10	0	0	0	<u>0.05</u>	0	0	0
KA4	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	<u>0.05</u>	0	0	0
KA5	0	0	0	0	<u>0.15</u>	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA6	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	<u>0.05</u>	0	0	0
KA7	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
K1	0	0	0	0	<u>0.05</u>	0	0	0
	10	0	0	0	<u>0.1</u>	0	0	0
K2	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	<u>0.05</u>	<u>0.3</u>	0	0	0
K4	0	0	0	<u>0.1</u>	<u>0.15</u>	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
T3	0	0	0	0	<u>0.1</u>	0	0	0
	10	0	0	0	<u>0.1</u>	0	0	0
屋島湾	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0

* 試水は200mLを10mLに濃縮して、そのうち1mL中のプランクトンを計数しています(20倍濃縮)。

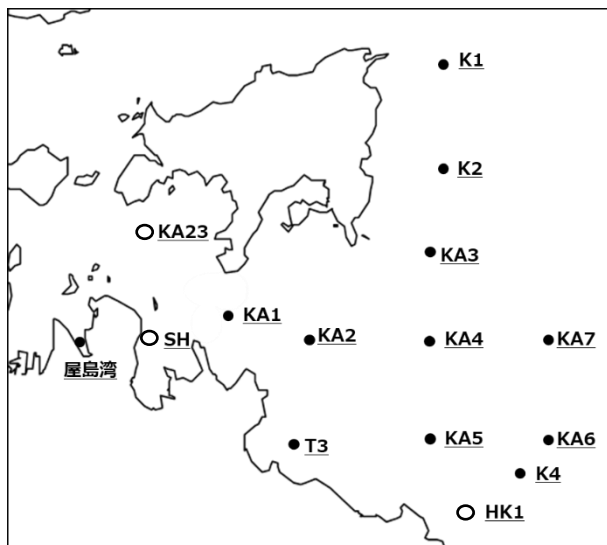
【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:藤田・和田) 電話 087-832-3471

(別紙)

図：調査定点（播磨灘：貝毒プランクトン調査）



* 貝毒プランクトン調査は合計 12 定点 (KA1~7、K1、2、4、T3、屋島湾)で行っています。

【参考】表：香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	-	50 細胞/mL